

定期総会

令和6年度の定期総会を、8月9日に千草ホテル（八幡東区）において開催し、大勢の御来賓、会員、関係者の皆様にご出席いただきました。

はじめに、高宮副会長による黒崎バイパスの早期全線開通に向けた積極的な要望活動を展開していく旨の力強い挨拶の後、御来賓の国土交通省北九州国道事務所の掛田所長から事業の進捗状況や事業の効果について説明していただきました。

議案審議では、令和6年度の活動報告、決算、監査報告及び令和7年度の事業計画、予算、要望活動での要望内容、役員改選について審議され、全て了承されました。



▲高宮副会長による開会挨拶



▲国土交通省北九州国道事務所 掛田所長による事業進捗状況の説明

要望活動

令和6年度は、11月14日に国土交通省九州地方整備局を訪問し、新保道路調査官に対して、各役員より早期完成を切望する地元の声をしっかりお伝えしました（右写真）。

11月28日には、国土交通省を訪問し、中野大臣に対して、「黒崎西ランプの早期完成」等について要望を行いました（左下写真）。

また、財務省を訪問し、横山財務副大臣に対して、「黒崎バイパスの早期全線供用に向けた道路整備予算の確保」等について要望を行いました（右下写真）。

さらに、衆議院と参議院の議員会館を訪問し、地元国会議員に対しても同様の要望を行いました。

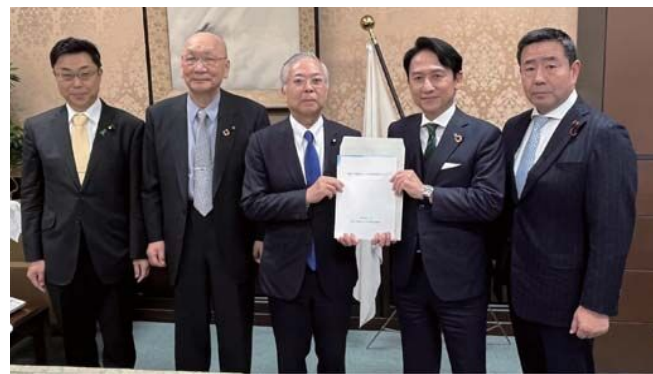
関係者の皆様のご尽力により、今回も大臣をはじめ多くの関係者に要望することができました。



▲国土交通省九州地方整備局 新保道路調査官へ早期完成を要望



▲中野国土交通大臣へ早期完成を要望



▲横山財務副大臣へ事業予算の確保を要望

国道3号黒崎バイパスの概要

計画の概要

- 事業区間：北九州市八幡東区西本町～北九州市八幡西区陣原
- 延長：約5.8km
- 形式：自動車専用道路
- 幅員：17.5m
- 事業主体：国土交通省
- ランプ設置：6箇所（春の町、前田、黒崎北、黒崎西、皇后崎、陣原）

事業の経緯

- 平成2年12月 都市計画決定
- 平成3年度 事業着手
- 平成14年7月 都市計画変更（前田ランプ追加）
- 平成18年4月 前田熊手線開通
- 平成20年10月 黒崎北～陣原ランプ間の暫定開通（10月25日）
- 平成23年10月 皇后崎 OFF ランプ開通（10月7日）
- 平成24年3月 前田～黒崎北ランプ間開通（3月30日）
- 平成24年3月 皇后崎 ON ランプ開通（3月30日）
- 平成24年9月 前田～都市高速道路接続区間の暫定開通（9月30日）
- 平成25年12月 都市計画変更（春の町ランプ出入口位置を春の町四丁目付近に変更）（12月25日）
- 令和5年3月 春の町ランプ及び陣原ランプ開通（3月18日）



開通へ向けて!

◎令和6年度 『黒崎西ランプ』筒井町交差点や鉄道を跨ぐ橋梁架設工事を実施

◎令和7年度 『黒崎西ランプ』橋梁上部工及び床版工を実施



No.34
令和7年7月

黒崎バイパスの事業進捗状況と効果

黒崎バイパスは、北九州市八幡東区西本町から北九州市八幡西区陣原を結ぶ全長 5.8 km、片側 2 車線の自動車専用道路です。また、国道 3 号黒崎地区の渋滞解消、地域産業の振興や黒崎地区の再生及び自動車専用道路ネットワーク形成など、北九州市の活性化の鍵を握る重要な道路です。

国土交通省が、平成 3 年度から事業着手し、平成 24 年度までに陣原ランプから都市高速道路接続区間が開通しました。そして、令和 5 年 3 月 18 日には、春の町ランプ及び陣原ランプが開通し、国道 3 号の東西方向のバイパスが完成しました。黒崎西ランプにおいては、今年度もランプ橋の工事等が行われています。

国道のネットワークを形成し、黒崎バイパスの整備効果を最大限に発揮させるためには、黒崎西ランプの早期供用が必要です。引き続き、事業進捗に向けた事業調整等に協力するとともに、地域の声を中央省庁へ届けていきたいと考えています。

黒崎西ランプの事業進捗状況 (令和 6 年度～令和 7 年度)

令和 6 年度は、黒崎西ランプにおいて、国道 3 号や JR・筑豊電鉄を跨ぐ橋梁架設工事が行われました。今年度も引き続き、橋梁上部工の架設工事等が行われており、着実に整備が進められています。



▲架設時の状況 (JR 鹿児島本線を跨ぐ橋梁)



▲橋梁架設後の状況 (国道 3 号から小倉方面を望む)



▲線路上部橋梁架設後の状況 (コムシティから福岡方面を望む)



▲完成イメージ CG (コムシティから福岡方面を望む)

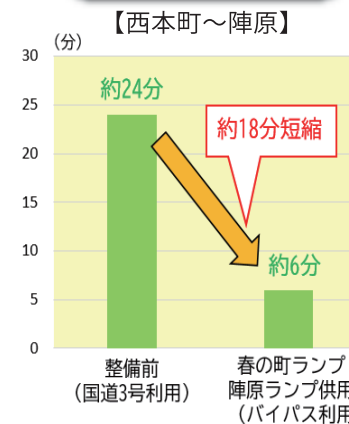
※資料：国土交通省北九州国道事務所提供

黒崎バイパスのランプ 10 分圏域での企業誘致・共同住宅分譲状況 (ストック効果)

これまでの整備により、国道 3 号や周辺道路の交通混雑の緩和、小倉都心部等への速達性・定時性や新門司地区・北九州空港等へのアクセスが向上しています。

また、交通の利便性が向上したことにより、黒崎バイパス沿線では、平成 20 年度の暫定供用以降、令和 6 年度末時点で新たに 94 社の企業が進出し、141 棟の共同住宅が分譲開始されています。

暫定供用に伴うアクセス向上

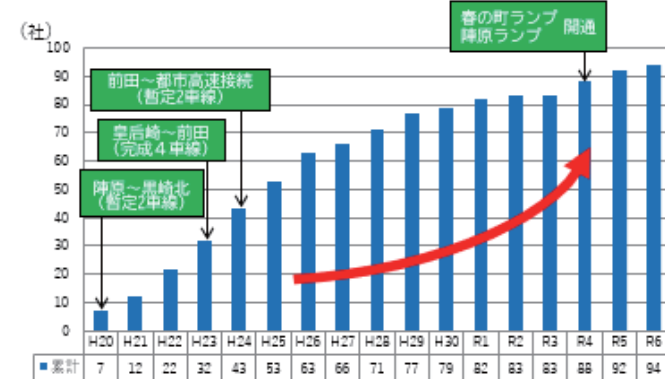


※資料：国土交通省北九州国道事務所



暫定供用後、94社が進出!

黒崎バイパスを含めた北九州西北部地域の自動車専用道路ネットワークが形成されると、更なる企業進出が期待されます。



暫定供用後、141棟の共同住宅が分譲開始!

現在も沿線で分譲予定の共同住宅が建築中であり、全線供用すると、更なる住宅開発の促進が期待されます。

